

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第45週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は1,162人(定点あたり36.3)で、前週比163%と増加した。

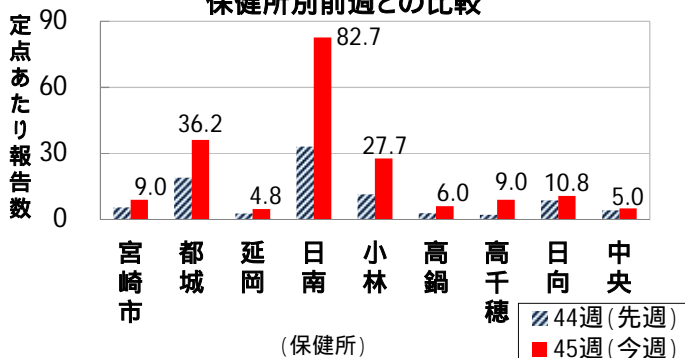
インフルエンザ・小児科定点からの報告

前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎と水痘で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

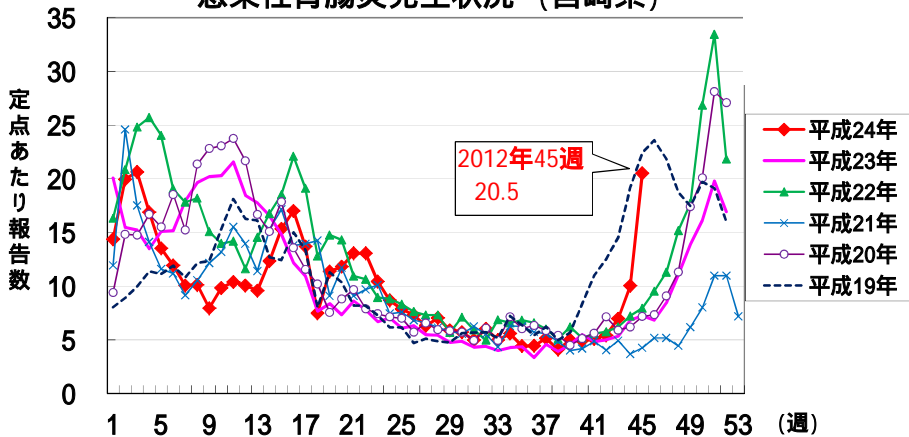
【感染性胃腸炎】

・報告数は738人(20.5)で前週比204%と増加し、流行警報レベル開始基準値を超えた。例年同時期の定点あたり平均値(9.6)の約2倍である。日南(82.7)、都城(36.2)、小林(27.7)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳と2歳が全体の約3割を占めた。

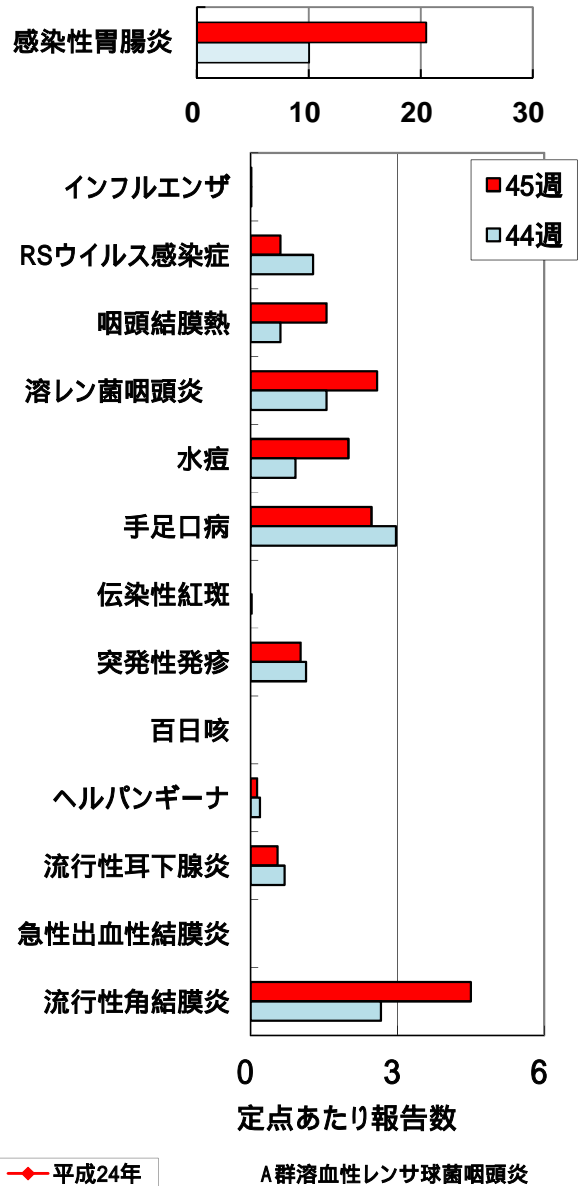
感染性胃腸炎
保健所別前週との比較



感染性胃腸炎発生状況 (宮崎県)

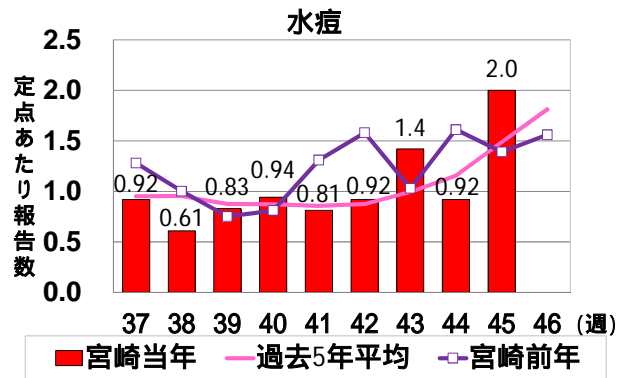


(前週との比較)



【水痘】

・報告数は72人(2.0)で前週比218%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(1.5)の約1.3倍である。延岡(6.8)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から3歳が全体の約8割を占めた。



基幹定点からの報告

無菌性髄膜炎：宮崎市・延岡（各1人）保健所から報告された。

- ・患者は11歳で、原因となった病原体は Mumps virus。
- ・患者は1ヶ月で、病原体検出せず。

流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	感染性胃腸炎(36.2)
延岡	咽頭結膜熱(6.3)
日南	咽頭結膜熱(3.0)、感染性胃腸炎(82.7)
小林	感染性胃腸炎(27.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	手足口病(6.0)

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・手足口病(5.0)

全数把握対象疾患

- 1 類感染症：報告なし。 2 類感染症：結核 13 例。 3 類感染症：報告なし。
 4 類感染症：レプトスピラ症 1 例。 5 類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状
2類	結核	宮崎市	50 歳代	無症状	-
			70 歳代	その他の結核 (結核性胸膜炎)	発熱
			70 歳代	疑似症	咳、発熱
			80 歳代	肺結核	なし
			90 歳代	その他の結核 (結核性リンパ節炎)	なし
		延岡	20 歳代	無症状	-
			20 歳代	無症状	-
			40 歳代	無症状	-
			50 歳代	無症状	-
			60 歳代	無症状	-
高千穂	60 歳代	無症状	-		
	60 歳代	無症状	-		
4類	レプトスピラ症	都城	60 歳代	-	発熱、黄疸、蛋白尿、腎不全

病原体情報（衛生環境研究所微生物部 平成 24 年 11 月 13 日までに検出）

細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Enteritidis (O9:g,m:-)	10歳代	男	2012.10.23		便	2012.10.31

ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
コクサッキーウイルス B5型	2M	男	2012.9.21	髄膜炎、40	便	2012.11.4
アデノウイルス 1 型	10M	男	2012.9.27	アデノウイルス感染、肺炎、40、上気道炎、下気道炎	便	2012.11.1

髄膜炎と診断された乳児の便からコクサッキーウイルスB5型が分離された。

アデノウイルス感染と診断された乳児の便からアデノウイルス1型が分離された。本県では2009年に分離されて以来、3年ぶりである。

全国第 44 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 12.2 で、前週比 105%と増加した。今週増加した主な疾患は感染性胃腸炎と水痘で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

感染性胃腸炎の報告数は 17,562 人(5.6)で、前週比 120%と増加した。兵庫県・福岡県(各 13.3)、石川県(11.9)、宮崎県(10.0)からの報告が多く、年齢別では1歳から2歳が全体の約3割を占めた。

水痘の報告数は 2,487 人(0.79)で、前週比 110%と増加した。山形県(2.8)、佐賀県(1.7)、新潟県(1.6)からの報告が多く、年齢別では1歳から5歳が全体の約8割を占めた。

全数把握対象疾患（全国第 44 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	366 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	33 例		
4類感染症	A型肝炎	3 例	エキノコックス	1 例	つつが虫病	4 例
	デング熱	4 例	日本紅斑熱	5 例	マラリア	1 例
	レジオネラ症	13 例	レプトスピラ症	2 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	13 例	ウイルス性肝炎	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 例	後天性免疫不全症候群	17 例	ジアルジア症	1 例
	髄膜炎菌性髄膜炎	1 例	梅毒	10 例	破傷風	3 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	風しん	17 例	麻しん	3 例

月報告対象疾患の発生動向 <10月>

性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は44人（3.4）で、前月比129%と増加した。また、昨年10月（4.3）の約8割であった。

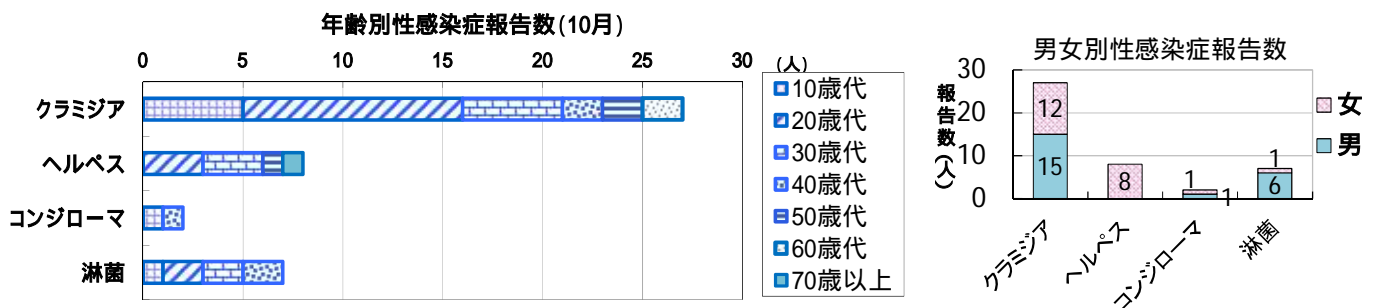
《疾患別》

性器クラミジア感染症：報告数27人（2.1）で、前月の約1.4倍、前年の約8割であった。都城（5.0）保健所からの報告が多く、20歳代が全体の約4割、10歳代・30歳代がそれぞれ全体の約2割を占めた。

性器ヘルペスウイルス感染症：報告数8人（0.62）で、前月と同程度、前年の2倍であった。20歳代と30歳代がそれぞれ全体の約4割を占めた。

尖圭コンジローマ：報告数2人（0.15）で、前月の2倍、前年の半数であった。10歳代と40歳代であった。

淋菌感染症：報告数7人（0.54）で、前月の約1.4倍、前年の約半数であった。20歳代・30歳代・40歳代がそれぞれ全体の約3割を占めた。



【全国】 定点医療機関総数：969

定点医療機関からの報告総数は4,381人（4.5）で、前月比106%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,219人（2.3）で前月比104%、性器ヘルペスウイルス感染症769人（0.79）で前月比110%、尖圭コンジローマ544人（0.56）で前月比114%、淋菌感染症849人（0.88）で前月比106%であった。

薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は46人（6.6）で前月比159%と増加した。また、昨年10月（5.4）の約1.2倍であった。

《疾患別》

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数43人（6.1）で、前月の約1.6倍、前年の約1.2倍であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数2人（0.29）で、前月及び前年の約2倍であった。50歳代と70歳以上の報告であった。

薬剤耐性緑膿菌感染症：報告数1人（0.14）で、前月及び前年と同程度であった。70歳以上の報告であった。

薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：469

定点医療機関からの報告総数は2,101人（4.5）で、前月比108%と増加した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,804人（3.9）で前月比106%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症258人（0.55）で前月比117%、薬剤耐性緑膿菌感染症38人（0.08）で前月比160%、薬剤耐性アシネトバクター感染症1人であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2012年 第45週(11月05日～11月11日)

疾病名		第44週	第45週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1	1					1				
	定点あたり	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	46	22	3	9	2	2		2		4	
	定点あたり	1.28	0.61	0.30	1.50	0.50	0.67	0.00	0.50	0.00	1.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	22	56	8	11	25	9	1			2	
	定点あたり	0.61	1.56	0.80	1.83	6.25	3.00	0.33	0.00	0.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	56	93	16	6	21	8		23		17	2
	定点あたり	1.56	2.58	1.60	1.00	5.25	2.67	0.00	5.75	0.00	4.25	2.00
感染性胃腸炎	報告数	361	738	90	217	19	248	83	24	9	43	5
	定点あたり	10.03	20.50	9.00	36.17	4.75	82.67	27.67	6.00	9.00	10.75	5.00
水痘	報告数	33	72	18	7	27	4	5	1		9	1
	定点あたり	0.92	2.00	1.80	1.17	6.75	1.33	1.67	0.25	0.00	2.25	1.00
手足口病	報告数	107	89	43	10	2	7	7	13	1		6
	定点あたり	2.97	2.47	4.30	1.67	0.50	2.33	2.33	3.25	1.00	0.00	6.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	41	37	12	8	6	3	4	2		2	
	定点あたり	1.14	1.03	1.20	1.33	1.50	1.00	1.33	0.50	0.00	0.50	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	7	5	1	2	1	1					
	定点あたり	0.19	0.14	0.10	0.33	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	25	20	5	10	3	1				1	
	定点あたり	0.69	0.56	0.50	1.67	0.75	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	16	27	23		4						
	定点あたり	2.67	4.50	7.67	0.00	4.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		2	1		1						
	定点あたり	0.00	0.29	1.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2012年第1週～45週)

2類感染症	結核	232例(13)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	65例				
4類感染症	A型肝炎	3例	つつが虫病	13例	デング熱	2例
	日本紅斑熱	9例	レジオネラ症	5例	レプトスピラ症	3例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	8例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例	後天性免疫不全症候群	2例
	梅毒	3例	破傷風	4例	麻しん	8例

()内は今週届出分、再掲